



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

石川県 穴水町立穴水中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：小口 貴久 先生（リュージュ）

【出場オリンピック／ソルトレークシティー2002冬季大会、トリノ2006冬季大会、バンクーバー2010冬季大会】

■期 日：2024年10月22日(火)

■ク ラ ス：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・リュージュ競技でオリンピック3大会に出場したと自己紹介。競技体験として仰向けになり頭と足を浮かせ、この姿勢で氷上のコースを時速約160kmで滑り降りる競技と説明。準備運動として軽くジョギングした後、現役時代に行っていたストレッチ(腕立て伏せの姿勢で虫のように移動するキャタピラーウォーク、手をついたまま腰を上げ熊のように歩行するベアウォーク、低い姿勢で蜘蛛のように這うスパイダーウォーク)を実施。運動の時間は、考えることと挑戦することの2つを意識してほしいと話す。

○主運動等



・準備運動として「オリンピックの輪作り」を実施(全3回)。バレーボールを1人1球持ち、掛け声の数だけボールを床に突きながらジャンプし、「集まれ」の掛け声で直前にジャンプした回数と同じ人数が集まり、お互いの手でボールを挟んで輪を作る。

・主運動として「大縄くぐり」を実施(全3回)。制限時間30秒間で、回している大縄をくぐった合計回数を競う。2回目以降は作戦タイムを設け、ルールを守った上で、前回の記録を上回るように工夫して取り組んでほしいと伝える。



・運動の時間を振り返り、主運動の大縄くぐりでは、各チームが作戦を工夫して回数をどんどん伸ばすことができていた。記録を更に伸ばすためには他にどのような作戦がありそうかと問い掛けると「縄を床に付けずに回す」「くぐる人数を増やす」等の回答があった。ルールを守ることは大切だが、ルールを守った上でできることを考えることも大切であると伝えた。座学の時間は、オリンピックでの体験やオリンピックバリューについて話していきたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**：小口 貴久 先生 (リュージュ)

【出場オリンピック／ソルトレークシティー2002冬季大会、トリノ2006冬季大会、バンクーバー2010冬季大会】

■ **期 日**：2024年10月22日(火)

■ **ク ラ ス**：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・映像を見ながらリュージュ競技について説明し、実際に使用していたシューズやグローブを紹介。リュージュを始めたのは小学校5年生の時に、最初は楽しみたいという気持ちの方が大きかった。大学生の時に長野1998冬季大会を観戦し、一緒に練習していた仲間がオリンピックに出場している姿を見て、自分も出てみたいと思うようになった。経験者が少なかったため、試行錯誤しながら自分で様々な練習方法を考えて真剣に競技に取り組んだ結果、3大会連続でオリンピックに出場することができた。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：自分の夢や日常生活での目標に向かって挑戦したいことを書き出してみよう。

発表：エクセレンス：「受験に向けてしっかり勉強する」「合唱の練習をする」「テストで100点を取る」等

フレンドシップ：「劇や合唱の練習を皆で協力する」「人とコミュニケーション(会話)を取る」等

リスペクト：「成績を上げる」「文化祭を盛り上げる」等



・座学の時間を振り返り、様々な意見を発表してくれたが、どの意見も素晴らしく、一步でも前に進めようという気持ちが伝わってきた。オリンピックバリューはオリンピックも大切にしているが、オリンピックだけではなく、皆の普通の生活にも当てはまるということが理解できたと思う。グループワークで話し合ったことや自分で書き出したことを思い出しながら、日常生活の中でもこの3つの価値を意識して、実際に行動し、さらにより良い人生を送ってほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



■記念品贈呈

・2年1組



■修了証贈呈

